

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社ケイディ工業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別を禁止する他、各種ハラスメントの禁止について就業規則に定め、従業員に周知している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全責任者を任命し、KY活動を実施している。現場ごとに日報にて毎日安全確認を実施している。 ・車両についてはバックモニターを搭載し、事故が起こらないように徹底している。 ・コミュニケーションを大事にし、一人に仕事が偏らないように声かけを実施している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・基本給と技能、勤務成績、経験年数に応じた給与制度を設け、公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・育児・傷病・看護休暇、産前・産後・育児時間の時短制度や時差出勤制度の就業規則を定め、基本残業なしで働きやすい環境への取り組みに力を入れている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修や資格取得については会社の経費負担であり、積極的に資格取得するよう人材育成に取り組んでいる。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・現場ごとに交通事故等への注意喚起や健康増進への取り組みの促進を行っている。 ・AEDの講習を受講している。 ・従業員及び家族の健康維持向上を呼び掛け、ミニバレーやソフトボール大会等のスポーツイベントへの参加を推奨している。 ・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。			3					8								17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・外国人の雇用実績もあり、人種、性別などの違いによる差別的待遇は行っていない。 ・定年についても60歳から65歳と延長し、希望があれば更なる雇用延長も可能な態勢を構築している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・時短制度や時差出勤制度の就業規則を定め、柔軟な勤務体制により新しい生活様式への対応を行っている。 ・役所や設計士とオンライン会議を活用し、感染症対策とCO2削減を徹底している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・測量時にドローンを活用し、業務効率化を図っている。 ・ICT施工を導入している。								8	9.1		11	12					
21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●					3	4				8	9			12						

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社ケイディ工業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・契約書にリサイクル等に係る記載があり、環境汚染予防に配慮した取組みを行っている。 ・コンクリートやアスファルトについてはリサイクル、鉄くずやプラスチックの分別を徹底している。 ・排ガス対策型の重機を使用し環境に配慮している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・事務所についてはLED照明にすべて変更し節電に取り組んでいる。 ・営業車についてはすべてハイブリット車としCO ₂ 排出の抑制に取り組んでいる。 ・【予定】令和5年5月までに簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出する。							7.3							13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・営業車についてはすべてハイブリット車としCO ₂ 排出の抑制に取り組んでいる。 ・事務所に太陽光パネルを設置している。 ・【予定】令和5年5月までに簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出する。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・河川工事の際は泥水を下流に流さないよう対策を行い工事している。 ・コンクリートやアスファルトについてはリサイクル、鉄くずやプラスチックの分別と削減に努めている。 ・ブルーベリーやシタケ、柿、すももの栽培や日本ミツバチ養蜂を行うことにより生物の生息・生育地の創出にも取り組んでいる。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・FSC認証の環境に配慮した再生用紙の利用を促進している。 ・ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。 ・コンクリートやアスファルトについてはリサイクル、鉄くずやプラスチックの分別と削減に努めている。										9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・河川工事の際は泥水を下流に流さないよう対策を行い工事している。 ・ブルーベリーやシタケ、柿、すももの栽培による「地域の緑化」に取り組む事により水資源への貢献を行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5				14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・FSC認証の環境に配慮した再生用紙の利用を促進している。										9.4				12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・自社生産の農作物につき余剰分は加工食品として加工し食品ロスが発生しない様になっている。	1	2					6.4								12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・地域のグリーンクリーン活動による緑化活動に参加することや事務所周辺に花のプランターを設置する事等により緑の保全に取り組んでいる。 ・自社保有の山にてブルーベリーやシタケ、柿、すももの栽培による有効活用を図ることにより「地域の緑化」に取り組んでいる。													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・事務所に太陽光パネルを設置し、オフィスにLEDに変更し節電に取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・自社保有施設については社有林にある木材を使用し建築を行っている他、伐採、植林を含めた適切に管理を行っている。						6				9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・自社での社有林を保有し、伐採、植林を含めた適切に管理を行っている。また、野生動物による森林破壊を未然に防ぐ設備を設け、森林保全に努めている。						6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・プラスチックごみの分別を徹底している。 ・河川工事の際は泥水を下流に流さないよう対策を行い工事している。															12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4			11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●															7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13			17.2

